

津波被害軽減へのICTの活用 －産学官連携によるチャレンジ－

平成30年 3月15日 (木)

●時間 15時15分～17時25分 (14時45分開場)

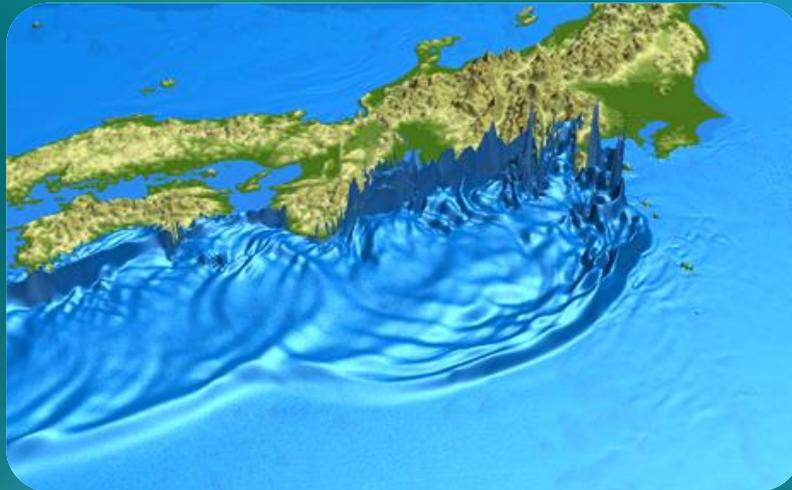
●定員 150人 参加無料

●会場 ラゾーナ川崎プラザソル

川崎市幸区堀川町72-1 ラゾーナ川崎プラザ5階

共催 東北大学災害科学国際研究所
東京大学地震研究所
富士通株式会社
川崎市

後援 内閣府政策統括官 (防災担当)
気象庁



『川崎市における津波被害軽減に向けた共同プロジェクト』

近年の津波観測網の整備や、人工知能・スパコン等のICT技術の発展に伴い、津波防災に関してこれまでの全国一律の対策に加えて、地域にカスタマイズした対策の有効性が指摘されています。東北大学災害科学国際研究所・東京大学地震研究所・富士通株式会社・川崎市の4者は地域カスタマイズ型の新しい津波対策に向けた技術検討を行う産学官連携の共同プロジェクトを開始しました。そのキックオフ、および、防災専門家による講演会を行います。

プログラム

15:15 開会の挨拶

福田 紀彦 (川崎市長)

北岡 俊治 (富士通株式会社 執行役員常務)

15:25 基調講演①

「警報の鉄則 - 人命を救うために - 」

西出 則武

〔前・気象庁長官、富士通研究所 顧問〕
〔東北大学 特任教授〕



15:55 基調講演②

「東日本大震災等から学ぶ今後の防災・減災」

今村 文彦

〔東北大学災害科学国際研究所 所長〕



16:25 休憩 (10分)

16:35 「川崎市の津波防災とプロジェクトへの期待」

高橋 実 (川崎市総務企画局危機管理室長)

16:50 「川崎市におけるICT活用による津波被害災害軽減に向けた産学官連携プロジェクト」

古村 孝志 (東京大学地震研究所 教授)

17:05 「AI(人工知能)による防災分野への取り組み」

鈴木 祥治 (株式会社富士通研究所 取締役)

17:20 閉会の挨拶

古村 孝志 (東京大学地震研究所 教授)

パネル展示

会場では、関連研究の他、川崎市の防災計画、富士通のAI、BCP、防災技術のパネル展示を行います。

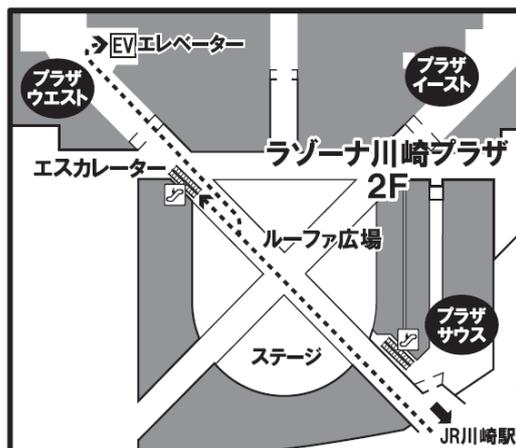
「津波被害軽減のICT活用」参加申込用紙

参加申込用紙を**3月8日（木）**までにFAXまたはE-MAILにて送付して下さい。（参加費無料／定員150名）

FAX:044-200-3972 / E-MAIL:17kiki@city.kawasaki.jp

| | |
|----------------------------|--|
| 1. お名前 | |
| 2. ご所属 (事業所・自主防災組織 名称等) | |
| 3. ご連絡先 (E-MAIL、FAX等) | |
| 4. イベントに興味を持ったきっかけ (任意) | |

会場案内



■会場までのご案内

JR川崎駅改札を出て左側へ。ラゾーナ川崎プラザ中庭（2F ルーファ広場）へ。直進し、緑色の看板下から建物へ。少し行った右側エレベーターで5Fへ。音楽教室の先にあります。



JR川崎駅より
徒歩約5分

【問合せ】

川崎市総務企画局危機管理室
住所 川崎市川崎区宮本町1
電話 044-200-2478
FAX 044-200-3972
E-mail 17kiki@city.kawasaki.jp